

事業報告書

1 支援団体名	NPO 法人アシスト・パル・オオイタ								
2 事業名称	大分川ダムフラワー大作戦								
3 実施日時	平成30年4月1日～平成31年3月31日								
4 実施場所	大分県大分市大字下原								
5 事業目的、内容及びその効果	<p>(事業実施状況・内容)</p> <p>今年で15年目、参加人数延べ5259人。大分川ダムフラワー大作戦は地元12団体、他県民、ダム関係者が参加してダム周辺の里山保全整備を実施。景観維持と里山保全を目的に年間植栽、植樹地の下草刈り作業を継続。</p> <p>主事業（関係者協議3回、作業年6～7回）</p> <p>5月10日 夏の作業準備（枯草除去とのり面草刈り、整地作業）</p> <p>5月26日 夏の植栽作業 花苗（ビオラ、キンセンカ、芋苗、シート張り）</p> <p>7月21日 植栽地下草刈り、花枯れつみ、水やり作業、草刈り）</p> <p>9月 8日 畑のり面の草刈り、花枯れ摘み、植樹地下草刈り、花壇直し</p> <p>10月27日 秋の植栽作業準備（枯草除去と整地作業）</p> <p>11月10日 秋の植栽作業（ナデシコ、スノーボール、Clover 他）</p> <p>サツマイモ堀（地元幼稚園、保育園に食育支援 贈呈）</p> <p>ダム周辺国道422沿いゴミ拾い等</p> <p>(事業実施効果)</p> <p>① ダム湖周辺の賑わい増（ダム湖の水張りがリアルなため見学者、視察者の立ち寄りが増えてきた、地域にも賑わいが感じられる）</p> <p>② 交通量の増（10年前は国道の通行量が600台平均だったがH27年の交通量の調査では1日平均2400台程・県道路維持課データ）ダム湖本来の役割に相乗効果で自然環境・景観・里山の保全が成立していくと今後ナチュラル派と自然志向派に提案可能（観光振興に貢献）</p>								
6 参加内訳	<table border="1"> <tr> <td>総人数</td> <td>355名</td> </tr> <tr> <td>(1) 主催者参加</td> <td>12名</td> </tr> <tr> <td>(2) 日本人参加（(1)を除く）</td> <td>343名</td> </tr> <tr> <td>(3) 外国人参加（(1)を除く）</td> <td>0名</td> </tr> </table>	総人数	355名	(1) 主催者参加	12名	(2) 日本人参加（(1)を除く）	343名	(3) 外国人参加（(1)を除く）	0名
総人数	355名								
(1) 主催者参加	12名								
(2) 日本人参加（(1)を除く）	343名								
(3) 外国人参加（(1)を除く）	0名								
7 今後の方針	<p>① ダム湖周辺の植栽と植樹地の作業と管理を実施。</p> <p>今後の計画はダム湖周辺の景観づくりに桜、紅葉、低木の植樹作業を協議、各団体や自治体に提案。自主活動の幅を広げると同時に次世代育成を図る。</p> <p>② ロックフィルダムの意義を認識して地域住民、関わる人々の価値観を誇りに、持続可能な里山を試みる。</p>								

畑、のり面草刈り



花壇の花苗



雑草除けシート張り



夏草刈り



秋の花苗



整地前の小石除去

